

# 第6学年 国語科学習指導案

1組 計38人(男子16人, 女子22人)

指導者 中川 寛仁

## 1 単元 筆者のものの見方を捉え、『鳥獣戯画』の魅力を紹介しよう (教材『鳥獣戯画』を読む)光村6年)

### 2 単元の目標

- 筆者の絵に対する「着眼点」, 「説明」, 「評価」を理解し, 「評価」等に関する言葉を増やすことができる。【知識及び技能(1)オ, カ】
- 筆者の絵の見方や表現の工夫を捉えて『鳥獣戯画』の魅力を紹介し, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【C読むこと(1)オ, カ】
- 進んで『鳥獣戯画』の魅力を紹介したり, 絵の見方や表現の仕方について友達と学び合ったりしようとする。【学びに向かう力, 人間性等】

### 3 単元で目指す子供の姿

主体性	問いと解決への見通しをもって学習に取り組み, 筆者の絵に対する「着眼点」, 「説明」, 「評価」を基に, 絵の見方や表現の仕方を捉えたり問い直したりして, これからの他教科等の学習や実生活にも生かそうとする。
協働性	互いの絵の見方や表現の仕方のよさを尊重し, 自分の考えを広げたり深めたりしながら, 友達と協力して課題をよりよく解決しようとする。
創造性	文章と図表を結び付けて必要な情報を見付ける学習や図画工作科の学習を想起しながら, 筆者の絵の見方や表現の工夫について理解したことを基に, 新たな絵の見方やよりよい表現方法を見いだし, 工夫して絵の魅力を紹介しようとする。

### 4 単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

これまでに子供たちは, 第5学年「天気を予想する」で筆者の説明の工夫を見付け, その効果について話し合う学習に, 第6学年「笑うから楽しい」と「時計の時間と心の時間」で, 自分の知識や経験と関係付けて筆者の意図を捉え, 考えを広げたり深めたりする学習に取り組んできた。

そこで, 本単元では「C読むこと ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み, 分かったことや考えたことを話し合ったり文章にまとめたりする言語活動」として「筆者の絵の見方や表現の工夫を捉え, 『鳥獣戯画』の魅力友達を紹介する言語活動」を位置付ける。『鳥獣戯画』(動物が水遊びをしている場面, 以下場面①)の見どころや素晴らしさなどの自分が捉えた魅力を友達に紹介するために, 文章と絵を結び付けて教材文を読み, 「着眼点」, 「説明」, 「評価」の観点で筆者の絵の見方を理解したり, 「評価」の言葉等に注目して表現の工夫を捉えたりする。そして, 筆者の絵の見方や表現の工夫を参考にして, 『鳥獣戯画』の紹介内容を考える。また, 友達との「学び合い」を通して, 絵の見方や表現の仕方について考えを広げたり深めたりしながら紹介内容を見直し, 絵から読み取ったことや感じたことを分かりやすく伝える方法を工夫する。

この学習は, 気に入った絵の鑑賞文を書き, 「山下小ギャラリー」を開く「この絵, 私はこう見る」の学習につながっていく。また, 観点に基づいて情報を読み取り, 感じたことを表現するという学習は, 俳句・短歌・詩等の学習や, 図画工作科と音楽科の作品鑑賞の学習とも関連があり, 芸術作品に親しみ, 豊かな感受性を育むことにもつながっていく。

#### (2) 教材について

教材「『鳥獣戯画』を読む」は, 「漫画の祖」とも言われる国宝の絵巻物『鳥獣人物戯画』甲巻の一場面(蛙と兎が相撲をとっている場面, 以下場面②)を解説した説明的文章である。子供たちは, 『鳥獣戯画』等の絵巻物が, 伝統文化として深く息づいてきたことを理解するとともに, 漫画やアニメーションのルーツであることを知り, 親近感を抱くと考えられる。また, その魅力を文章と絵で解き明かしていく筆者の論の進め方は, 絵の見方への深い理解を促すと同時に, 子供たちの絵の見方も広げていくものと考えられる。

これらのことから本教材は, 目的に応じて文章と絵を結び付けて読み, 「着眼点」, 「説明」, 「評価」の観点で筆者の絵の見方や表現の工夫を捉えるとともに, 理解したことを生かして絵の魅力を紹介する学習や, 友達と絵の見方や表現の仕方を学び合いながら, 自分の考えを広げたり深めたりする学習に適した教材である。

(3) 子供の実態（調査日 平成30年9月3日 調査人数38人 数字は人数）

<b>【調査1】「精査・解釈」に関する能力【文章と図表を結び付けて必要な情報を見付ける調査問題の結果】</b>			
・ 文章や図表から必要な情報を見付け、それらを結び付けて文章の内容を解釈することができる。	(27)		
・ 文章や図表から必要な情報を見付け、それらを結び付けて文章の内容を解釈することがもう少しである。	(11)		
<b>【調査2】「考えの形成」に関する能力【筆者の論の進め方について自分の考えをまとめる調査問題の結果】</b>			
・ 筆者の説明の工夫や、その効果について自分の考えをまとめることができる。	(25)		
・ 筆者の説明の工夫や、その効果について自分の考えをまとめることがもう少しである。	(13)		
<b>【調査3】言語活動を遂行する能力【事物の魅力をつ捉えて分かりやすく紹介する調査問題の結果】</b>			
・ 事実と感想、意見とを区別して事物の魅力を紹介することができる。	(23)		
・ 事実と感想、意見とを区別して事物の魅力を紹介することがもう少しである。	(15)		
<b>【調査4】主体的な学びについて【問いや解決の見通しをもち、学びを振り返ることへの意識調査の結果】</b>			
[自ら問いをもつ]	いつもできている (12)	ときどきできている (22)	あまりできていない (4)
[解決の見通しをもつ]	いつもできている (19)	ときどきできている (15)	あまりできていない (4)
[学習の成果を振り返る]	いつもできている (20)	ときどきできている (15)	あまりできていない (3)
[学習の課題を振り返る]	いつもできている (16)	ときどきできている (19)	あまりできていない (3)
<b>【調査5】対話的な学びについて【「学び合い」で考えを広げたり深めたりすることへの意識調査の結果】</b>			
[考えを広げる、深める]	いつもできている (19)	ときどきできている (17)	あまりできていない (2)
<b>【調査6】深い学びについて【学びの自覚と他教科等や実生活での活用への意識調査の結果】</b>			
[有用性・汎用性の自覚]	いつもできている (15)	ときどきできている (20)	あまりできていない (3)

以上の実態から、本学級の子供は、解決の見通しをもって学習に取り組み、「学び合い」を通して、自分の考えを広げたり深めたりしようとする態度を身に付けているものの、「言葉による見方・考え方」を働かせて、文章の内容等について深く理解したり、自分の考えを的確に表現したりすることや、学んだことの有用性・汎用性を自覚することについては課題があると考えられる。そこで、本単元の指導に当たっては以下のような手立てを行うこととする。

5 指導に当たって

(1) 主体的な学びを実現する教師の手立て

本単元に入る際、図画工作科の学習で美術館を見学し、優れた絵画作品にふれ、芸術に親しむ態度を養う。次に、「つかむ・見通す」過程では、子供たちが、友達と水遊びをした経験を想起し、関心をもって鑑賞しやすい『鳥獣戯画』場面①を提示し、その絵を見た感想を友達と交流する。そして、本教材の題名にある「絵を読む」の意味を考え、自分の感想と比べて教材文を読むことで、『鳥獣戯画』場面①の魅力をつ捉え、それを分かりやすく友達に紹介したいという意欲を高め、筆者の絵の見方や表現の工夫についての問いを見だし、解決方法を考えるようにする。

「振り返る・生かす」過程では、「考えが変わったこと」や「生かしたいこと」などの観点から本単元での学びを振り返ることで、「着眼点」、「説明」、「評価」の関係や「評価」の言葉に着目し、絵の見方や表現の仕方について考える「言葉による見方・考え方」を働かせて課題を解決してきたことに気づき、次単元の絵の鑑賞文を書く学習にも生かそうとする意欲を高める。

(2) 対話的な学びを実現する教師の手立て

「調べる」過程では、筆者の絵の見方や表現の工夫について調べ、分かったことや考えたことをグループや全体で学び合い、1枚のワークシートにまとめることで、本教材の内容等への理解を深め、『鳥獣戯画』場面①の見方や紹介の仕方を工夫できるようにする。

「深める」過程では、このワークシートを参考にしながら、『鳥獣戯画』場面①から読み取ったことや感じたことを「着眼点」、「説明」、「評価」の観点で付箋紙にまとめ、それらを貼った紹介シートを基にグループで伝え合い、感想や助言を交流することで、絵の見方や表現の仕方について考えを広げたり深めたりできるようにする。また、全体の「学び合い」では、タブレットPCを使用し、紹介シートを拡大して視聴することで、互いの絵の見方や表現の仕方のよさを共有し、絵の魅力をつ捉えやすく紹介するためのポイントを捉えやすくする。

(3) 深い学びを実現する教師の手立て

「深める」過程では、筆者の絵の見方や表現の工夫について理解したことを基に、『鳥獣戯画』場面①から読み取ったことや感じたことをまとめ、友達に紹介する学習を行う。紹介内容を考えたり、友達と紹介し合ったりすることで、「言葉による見方・考え方」を働かせて、新たな絵の見方やよりよい表現方法を見だし、工夫して絵の魅力をつ伝えることができるようにする。また、新たに写真の鑑賞文を提示し、その文章を読んで考えたことを話し合うことで、本単元での学びの汎用性に気付くことができるようにする。

「振り返る・生かす」過程では、第1時の『鳥獣戯画』場面①を見た感想と第7時の紹介シートを比べて読んだり、本単元での学びを実生活でどのように生かしていくか話し合ったりすることで、他教科等の学習や実生活との関連に気づき、学んだことの実践化を自覚できるようにする。

過程(時)	言語活動	主な学習活動	<input type="checkbox"/> 単元を通して解決したい問い <input type="checkbox"/> 主な1単位時間の学習課題 <input type="checkbox"/> まとめの表現例	教師の指導・評価
つかむ・見通す(1)		1 『鳥獣戯画』場面①を見た感想を交流し、教材文を読んで、単元の学習課題や学習計画について話し合う。 筆者のものの見方を捉え、『鳥獣戯画』の魅力を紹介します。	題名にある「絵を読む」とは、どういうことだろう。 『鳥獣戯画』の魅力を紹介するためには、絵の「何」を「どのように」読み取り、それをどんな言葉で表現したらよいだろう。	○ 『鳥獣戯画』を見た感想を交流し、題名に着目して教材文を読むことで、「単元を通して解決したい問い」をもち、解決方法等について話し合う。【主】筆者の絵の見方や表現の工夫に問いを見だし、課題解決への意欲を高めている。 【主体的に学習に取り組む態度：話し合い】
調べる(4)	筆者の絵の見方や表現の工夫を捉え、『鳥獣戯画』	2 筆者が、『鳥獣戯画』場面②をどのように読んだのか調べ、分かったことなどをワークシートにまとめる。 3 筆者が、絵巻物の仕組みをどのように読んだのか調べ、分かったことなどをワークシートにまとめる。 4 筆者が、どのように文章構成や表現の仕方を工夫しているか調べ、その効果について考えたことなどをワークシートにまとめる。 5 筆者の主張や、それに対する自分の考えをワークシートにまとめる。	筆者のものの見方を捉え、『鳥獣戯画』の魅力を紹介するために 筆者は、絵をどのように読んだのだろう。 「着眼点」、「説明」、「評価」の観点で絵を読んでいる。 筆者は、絵巻物の仕組みをどのように読んだのだろう。 「1枚の長い紙に連続して絵を描くことで、話を語る効果があると、考えている。」 筆者は、表現の仕方をどのように工夫しているのだろう。 「書き出し」、「文末」、「絵の出し方」など工夫をしている。 筆者は、なぜ「人類の宝」と述べているのだろう。 『鳥獣戯画』は自由闊達な描き方が特徴の絵巻物であり、祖先の努力で今日まで大切に保存されてきたから。	○ 文章と絵を結び付けて調べ、分かったことを友達と学び合うことで、筆者が動物の形や大きさ、ポーズや表情などに着目して説明し、描き方等のよさを評価していることに気付く。【対】 ○ つないである2枚の絵を見て考えたことを友達と学び合うことで、1枚の紙に連続して絵を描く効果を理解する。【対】 ○ 調べて分かったことや考えたことを友達と学び合い、「書き出し」や「絵の出し方」などの観点に沿って整理することで、文章構成や表現の仕方の工夫を捉えられるようにする。【対】 ○ 筆者が「人類の宝」と述べた根拠や理由を調べ、友達と考えを交流することで、自分の考えを広げたり深めたりする。【対】 筆者の絵の「着眼点」、「説明」、「評価」を捉え、文章構成や表現の仕方の工夫を理解している。
深める(2)	場面①の魅力を友達に紹介する活動	6 筆者の絵の見方や表現の工夫をまとめたワークシートを参考にして、『鳥獣戯画』場面①の魅力をメモする。 7 前時のメモを基に、『鳥獣戯画』場面①の魅力を紹介し、互いの絵の見方や表現の仕方のよさを学び合い、絵の魅力を分かりやすく伝えるためのポイントを考える。【本時】	学んだことを生かして、『鳥獣戯画』から読み取ったことや感じたことをまとめよう。 「着眼点」、「説明」、「評価」を観点に、事実と感想、意見とを区別してまとめる。 絵の魅力を分かりやすく紹介するために大切なことは何だろう。 自分がどう考えたか分かるように適切な言葉を選び、「着眼点」、「説明」、「評価」のつながりに気を付ける。	【知識・技能：「学び合い」、ワークシート】 ○ 『鳥獣戯画』から読み取ったことや感じたことは、「着眼点」、「説明」、「評価」の観点で付箋紙にメモする。【深】 ○ 『鳥獣戯画』場面①の魅力を紹介し合うことで、絵の見方や表現の仕方を見直し、絵の魅力を分かりやすく伝えるポイントを捉えられるようにする。また、新たに写真の鑑賞文を提示し、本単元での学びの有用性・汎用性に気付くようにする。【深】 新たな絵の見方やよりよい表現方法を見だし、『鳥獣戯画』場面①の魅力を紹介している。
振り返る(1)	生振り	8 本単元での学びを自覚し、新たな学習課題を見付ける。	本単元の学びを振り返り、新たな学習課題を考えよう。 学んだことを生かして、気に入った絵の鑑賞文を書きたい。	【思考・判断・表現：「学び合い」、紹介シート】 ○ 本単元の学びや課題を話し合い、他教科等の学習にどのように生かしていくか考える。【深】

新たな学び「お気に入りの絵の鑑賞文を書き、山下小ギャラリーを開こう」国語科(6)、図画工作科(1)

7 本 時 (7/8)

(1) 目 標

『鳥獣戯画』場面①の魅力を紹介し、絵の見方や表現の仕方について学び合いながら考えを広げたり深めたりすることができる。

(2) 展 開 □ 教師の言葉掛け [ ] 子供の反応 ◆ 重点評価項目 ☆ICT活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	教師の指導
つ か む ・ 見 通 す (5)	<p><b>1 これまでの学習を想起し、本時の学習課題を立てる。</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">今日は、これまでの学習を生かして『鳥獣戯画』の魅力友達に分かりやすく紹介したいな。分かりやすく紹介するためには、どのようなことに気を付けたらよいのでしょうか。</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵の魅力を知りやすく紹介するために大切なことは何だろう。</span></p>	<p>○ 「何に気を付けたら、友達に絵の魅力を伝えることができるか。」と問い掛けることで、絵の見方や表現の仕方について問題意識をもたせ、本時の学習課題につなげる。 <b>【主】</b></p> <p>○ 本時は、既習の「着眼点」、「説明」、「評価」に着目し、よりよい絵の見方や表現の仕方について考えることを全体で確認して、課題解決に必要な「言葉による見方・考え方」を押さえる。 <b>【主】</b></p>
調 べ る (10)	<p><b>2 解決の見通しを全体で確認する。</b></p> <p><b>3 同じ「着眼点」どうしのグループで『鳥獣戯画』場面①の魅力を紹介し合い、互いの絵の見方や表現の仕方を学び合う。</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「着眼点」、「説明」、「評価」の観点に気を付けて、絵の魅力を友達に紹介し、絵の見方や表現の仕方について話し合います。</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">この絵の魅力は、「見事な筆運びにある」と考えます。この猿と兎の動きや表情を見てください。線だけで、猿と兎の仲のよさを生き生きと表現しています。</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">猿と兎の仲のよさに魅力を感じているのなら、見事な筆運びより、「和気あいあい」という言葉が適切だと思うよ。</span></p>	<p>○ 「着眼点」(青色)、「説明」(緑色)、「評価」(黄色)を書いた付箋紙を貼った紹介シートを基に、グループの中央にある『鳥獣戯画』場面①を指し示しながら紹介することで、互いの絵の見方や表現の仕方を捉えやすくする。 <b>【対】</b></p> <p>○ グループで感想や助言を交流し、新たに気付いたことを付箋紙(ピンク色)に書き、絵の見方の広がりや表現の仕方の変容を可視化する。 <b>【対】</b></p> <p>☆ 紹介シートをタブレットPCで拡大して提示し、互いの絵の見方や表現の仕方を可視化し、「学び合い」の活性化を図る。 <b>【対】</b></p>
深 め る (23)	<p><b>4 グループで学び合ったことを全体で交流する。</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各グループの代表者が絵の魅力を紹介しましたが、どこがすばらしかったですか。</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">捉えた魅力を分かりやすく紹介するために、適切な言葉を選んで考えを述べているところ。</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「評価」を述べる際に、どこに「着眼」して、どのように感じたからと「説明」していたので、その人が捉えた魅力がよく伝わってきた。</span></p> <p><b>5 全体で分かったことを確認し、まとめを共有する。</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">絵の魅力を知りやすく紹介するためには、自分がどう考えたか分かるように適切な言葉を選び、「着眼点」、「説明」、「評価」のつながりに気を付けることが大切である。</span></p>	<p>○ 「代表者の紹介のどこがすばらしかったですか。」(評価)、「どちらの言葉が適切でしょうか。」(比較)、「Aさんは、なぜこのように評価したのでしょうか。」(推論)と問い掛けることで、「言葉による見方・考え方」を働かせ、絵の見方や表現の仕方について考えを広げたり深めたりすることができる。 <b>【深】</b></p> <p>◆ 互いの絵の「着眼点」、「説明」、「評価」の関係や「評価」の言葉に着目して、絵の見方や表現の仕方を比較・評価したり、表現の意図を推論したりしてしている。 <b>【思考・判断・表現:「学び合い」、紹介シート】</b></p>
生 振 か り す 返 る ・ (7)	<p><b>6 写真の鑑賞文から読み取ったことや感じたことを全体で交流する。</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「着眼点」、「説明」、「評価」の観点で写真の見どころを紹介している。絵以外でも、何かを読み取ったり感じたりしたことを紹介する時は、学習した絵の見方や表現の仕方が使えるね。</span></p> <p><b>7 本時の学習を振り返り、学びを自覚する。</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「着眼点」、「説明」、「評価」の関係や表現の仕方に注目して見直すと、よい紹介になった。</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">今回の学びを様々な鑑賞活動に役立てよう。</span></p>	<p>○ 新たに運動会の写真についての鑑賞文を提示し、それを「着眼点」、「説明」、「評価」の観点で読み、考えたことを全体で交流し、本単元での学びの汎用性に気付くことができる。 <b>【深】</b></p> <p>○ 「考えが変わったこと」や「生かしたこと」などの観点から本時の学習を振り返り、学んだことの有用性や今後の課題を自覚できるようにする。 <b>【深】</b></p>

第6学年「筆者のものの見方を捉え、『鳥獣戯画』の魅力を紹介しよう」本時（7／8）における授業構想シート

本時で期待される子供の姿

主体性	「絵の魅力を捉え、それを分かりやすく伝えるためのポイントは何か。」という学習課題を立て、見通しをもって学習に取り組むとともに、「言葉による見方・考え方」を働かせながら課題を解決してきたことに気づき、他教科等の学習や実生活にも生かそうとする。
協働性	互いの絵の見方や表現の仕方のよさを尊重し、自分の考えを広げたり深めたりしながら、友達と協力して課題をよりよく解決しようとする。
創造性	これまでの学習を想起しながら、新たな絵の見方やよりよい表現方法を見だし、工夫して絵の魅力を紹介しようとする。

本時で育成を目指す資質・能力

『鳥獣戯画』場面①の魅力を紹介し、絵の見方や表現の仕方について学び合いながら考えを広げたり深めたりすることができる。 【思考力, 判断力, 表現力等】

本時で働かせたい「言葉による見方・考え方」

見方（～に着目して）

考え方（思考の枠組み・方法）

「着眼点」, 「説明」, 「評価」の関係や「評価」の言葉に着目して、絵の見方や表現の仕方を比較・評価したり、表現の意図を推論したりする。

「言葉による見方・考え方」を働かせた子供の発言の想定と教師の言葉掛け

課題解決で働く「言葉による見方・考え方」

各グループの代表者に絵の魅力を紹介してもらいましたが、どこがすばらしかったですか。



「着眼点」, 「説明」, 「評価」の観点で絵の魅力を紹介し、それぞれの内容を工夫していたわ。

絵の見方や表現の仕方に着目して、友達の紹介のよさを評価する。

さて、猿と兎が仲良く遊んでいる関係を表す場合、「和気あいあい」と「実にすばらしい」では、どちらの言葉が適切でしょう。



「和気あいあい」が適切だと思います。なぜなら、複数の人物の仲のよさを表す言葉だからです。

「評価」の言葉に着目して、表現の仕方を比較・検討する。



「実にすばらしい」は、描き方等を「評価」する言葉だから、ここで使うのは相応しくないわ。絵の魅力を分かりやすく伝えるために、使う言葉が適切かどうか考えることもポイントね。

ところで、Aさんは、なぜ「和気あいあい」と感じたのでしょうか。



Aさんは、猿と兎の関係に「着眼」し、猿と兎が一緒に楽しく遊び、いたずらができる関係であると読み取ったから、「和気あいあい」という言葉を使ったと思う。Aさんは、どこに「着眼」し、どのように感じたか理由を「説明」していたよ。

「着眼点」, 「説明」, 「評価」の関係に着目して、友達の絵の見方や表現の意図を推論する。

それでは、絵の魅力を分かりやすく紹介するためには、自分がどう考えたか分かるように適切な言葉を選び、「着眼点」, 「説明」, 「評価」のつながりに気を付けることが大切だということですね。



振り返りにおいて期待される子供の発言や記述

- 絵の魅力を分かりやすく紹介するためには、自分がどう考えたか分かるように適切な言葉を選び、「着眼点」, 「説明」, 「評価」のつながりに気を付けることが大切であることが分かった。
- 「着眼点」, 「説明」, 「評価」の関係や「評価」の言葉に注目して見直すと、絵の魅力が伝わる紹介になった。
- 写真等を鑑賞するときも、学んだことを生かして「着眼点」, 「説明」, 「評価」の観点で読み取り、感じたことを適切な言葉を選んで紹介したい。